

令和5年度

児童発達支援評価表のまとめと改善目標

特定非営利活動法人 ひなたぼっこ

児童発達支援センター 心愛つう

1. 工夫している点

- ・施設環境も狭いながらも、部屋の効果的な使い方も定着し、課題に取り組みやすい環境が整った。
- ・施設外も整備もされ、戸外での課題にも取り組みやすい環境が整った。
- ・子どもたちの衛生面に関しても室内をはじめ椅子、送迎バス、おもちゃの消毒を毎日徹底して行っている。
- ・保護者に対しても面談時のみでなく、送迎時や電話などで話をする機会を多く持つようにしている。また、アプリ「LINEWORKS」にて、イベントの案内や出欠確認等、情報共有のツールとして活用し定着している。
- ・毎月のおたよりの中で、子どもたちの様子や防災訓練の様子等、情報共有に努めている。

2. 改善目標

- ・コロナ感染症の対応で、保護者や地域の交流が途絶えていたことから、今後は、交流の場面を増やしていきたい。
- ・家庭での養育のあり方、支援の仕方など(家庭支援プログラム『ペアレントプログラム』)の学習会の実施をし、保護者と支援についての共有をしていきたい。

以上のことから最優先事項として次の項目を改善目標とする。

**《保護者同士や地域の人達との交流の定着と
家庭支援についての学習会を開催し、生活に役立てる》**